

幼稚園・保育園のわらい

相手の思いを聞きながら、自分の気持ちを伝えようとする
カリキュラムNo.31…やさしい子ども…
内容に応じた会話を友だちとしながら、自分とは違う別の考
えがあることに気づき、受け入れていく
カリキュラムNo.34…やさしい子ども…

小学校のわらい

友だちの気持ちを考えながら、自分の思
いを伝えたり、活動を楽しんだりすること
ができる
カリキュラムNo.63…やさしい子ども…

「大丈夫！一緒にやってみようよ！」

～子ども自らの言動を継続的に見守り、支える指導～

6～2月

花巻幼稚園・花巻小学校

☆ **交流の流れ** ☆

- ・幼小互いの教育課程を考慮し、年間計画に年3回（6月・9月・2月）の交流会を組み入れる。
- ・年3回の交流会に向けてのペア決め、時間をかけて打ち合わせる。
- ・継続的にペアの様子を見守る。それぞれが相手に自分の思いや考えを伝え、互いのよさを発揮し、活動をより楽しめるよう支えていく。また、交流後のそれぞれの成長の姿を伝え合う。

☆ **交流の経過と交流後の園児の様子** ☆

活動の流れ	園児の姿 (○) 環境や援助 (◎)	児童の姿 (○) 指導者の支援 (◎)
6月13日 幼小・第1回なかよし集会 ・「ペアの友だちとの出会い」 ・ペアで『学校探検』 ・「クイズ大会」（ペアで答えを考える）	「学校探検」抜粋 ◎図書室で絵本をペアで1冊選んで見るように提案。 ◎ペアと一緒にトイレに行ってみよう促す。 ◎自分たちでかかわろうとする姿を見守り、支える。 ○少々緊張しながらも、多くはペアの友だちを頼りにし、動きを真似たり、話を真剣に聞いたりし、教えてもらったことに応えようとしていた。	○自分中心ではなく、園児の様子を見たり、聞いたり、園児の質問に答えたりしながら進めようとする姿がほとんどであった。
6月26日～8月31日 園児・プール遊び （小学校のプールを借用） ・「ペアで園からプールまで往復を歩く」 ・「ペアで入水準備」	◎幼小交流の時のペアの友だちとのかわりを思い出せるよう話し合い、園でも兄弟学級のペアで継続的に活動することを知らせ、見守っていく。 ◎園からプールまでの往復の歩き方、入水するまでの準備などをペアで進める状況をつくり、相手を意識して考え、動いたり話したりしている姿を認めていく。 ○プール遊びの経験のある5歳児は、兄弟学級ペアの4歳児や満4歳の友だちにひとつひとつ丁寧に話しかけ、表情を見ながらかかわろうとする姿が見られた。	
9月9日 幼小・第2回なかよし集会 ・「なかよし運動会」	◎ペアの友だちと、一緒に走るなかよしリレーを提案。 ◎すぐ切れてしまう紙テープバトンではどのように走るとよいか、ペアの友だちと作戦会議（相談）をする。 ○集会を心待ちにしている子が多く、ペアの友だちの動きや言葉に憧れをもって見聞きしていた。自分の思いを積極的に話す子どもが多かった。	○積極的に園児を誘い、張り切って並び、走り、応援する姿が見られた。作戦会議では、相手に分るように言葉を選んで話し、動きで伝える姿もあった。
9月中頃～ 園児・ペアで園外散歩 10月4日 園の運動会 （小学校の校庭を借用） 「ペアで入場・開会式」	◎園外散歩や園庭でのお弁当など、兄弟学級で一緒に活動する機会をつくる。 ◎運動会では、「ペアの友達と一緒に手をつないで整列し入場行進をする」「開会式では、ペアの友だちと隣同士で歌を歌ったり、体操をしたりする」ことを提案。 ◎5歳児の張り切っている姿に憧れをもてるよう声をかけていく。 ○ペアの友だちを積極的に探して話しかけ、張り切って主体的に活動を楽しもうとする5歳児、その5歳児の言動に刺激を受け、真似る4歳児・満4歳の姿であった。	

☆ **考察** ☆

幼小交流にかかわる打合せや事後反省会の際、教師間で交流時の子どもたちの姿やその後の各施設での成長の様子を伝え合った。そして、子どもの「自らかかわり、相手を受け入れようとする力」を引き出すための状況づくりの工夫と、教師間での継続的な見守り支える指導の有効性を確認した。互いの情報を共有することで、「相手を思いやる姿」「相手を頼りにする姿」「相手に憧れ、真似る姿」など、互いから学ぼうとする子どもの姿を通して、体験のつながりを意識して指導を工夫していく重要性を学んだ。